

MSDS

安全データシート (MSDS)
指令 (CE) 1907/2006

1. 製品および会社情報

1.1 製品

製品名：**JV3D Series - UV CLEAR VARNISH - 18L**
JV3D Series - UV CLEAR VARNISH - 100L

PN：**16944S (18L) および16945S (100L)**

UFI: T610-P046-T00J-E0QV

1.2 当該物質・混合物の用途およびその推奨用途

使用対象: JETvarnish Series (18L and 100L)

1.3 安全データシート発行元製造元/供給元:

MGI Digital Technology
4, rue de la Méridienne
94260 Fresnes
FRANCE
Tel.: +33 1 45 21 06 60 / Fax: +33 1 46 68 71 55
E-mail: info@mgi-fr.com / <http://www.mgi-fr.com>

1.4 緊急連絡先:

ORFILA: +33 1 45 42 59 59

2. 危険有害物質の要約

2.1 含有物質、混合物質の分類

規則 (EC) No 1272/2008 に準拠した分類

Skin irritation cat 2 (皮膚に対する刺激性を有す。)	H315
Eye irritation cat 2 (目に対する強い刺激を有す。)	H319
Sensitization skin cat 1B (皮膚アレルギーを発症する可能性がある。)	H317
Reproductive toxicity cat 2 (生殖毒性)	H361d
Specific target organ toxicity - Single exposure cat 3 (特定臓器毒性)	H335
Hazardous to the aquatic environment - Long-term hazard cat 2 (水性生物に対し、長期にわたり有害性を有す。)	H411

2.2 ラベル表示

規則 (EC) No 1272/2008 に準拠したラベル表示。

含有物質は CLP 規則に準拠し分類。

危険有害表示マーク



SGH07



SGH08



SGH09

シグナルワード： 警告

危険有害性

- H315 皮膚に対する刺激性を有す。
- H319 眼に対する強い刺激性を有す。
- H317 皮膚アレルギーを生ずる場合がある。
- H361d 胎児への障害を引き起こす可能性がある。
- H335 呼吸器に炎症を生じる場合がある。
- H411 水生生物に長期にわたり毒性を有す。

注意事項

予防措置

- P264 取り扱い後は十分に手を洗うこと。
- P280 保護手袋／防護服／保護メガネ／顔面保護マスクを着用すること。
- P261 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸い込まないこと。
- P272 汚染された作業衣は作業場から外部に持ち出さないこと。
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 すべての安全のための注意事項を通読し、理解するまでは製品を取り扱わないこと。
- P405 施錠して保管すること。
- P403+P233 通気性の良い場所で保管すること。コンテナの栓はしっかりと締めること。
- P271 屋外あるいは通気性の良い場所で使用すること。
- P501 内容物および容器の廃棄は当該地域／地方／国／国際規則に従って行うこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P391 漏出物を回収すること。

対応

- P302+P352 皮膚に触れた場合、十分な量の水で洗うこと。
- P332+P313 肌に刺激を感じた場合：医師の診察を受けること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間洗浄すること。コンタクトレンズを着用している場合は取り外して、引き続き洗浄すること。
- P304+P340 吸い込んでしまった場合：新鮮な空気のある部屋に移し、容易に呼吸ができるようにすること。
- P337+P313 眼への刺激が続く場合：医師の診察を受けること。
- P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された作業衣を脱ぎ、再着用の前に洗濯すること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

3. 組成、成分情報

3.2 混合物

化学品名	CAS No	CLP分類	濃度
2-フェノキシエチル アクリレート	48145-04-6	皮膚感作 cat 1B H317 生殖毒性 cat 2 H361d 水生環境への悪影響- 長期にわたる悪影響 cat 2 H411	20-30%
アクリレート モノマー	Proprietary	急性中毒（吸引） cat 4 H332 皮膚への刺激 cat 2 H315 眼の痛み cat 2H319 皮膚感作 cat 1B H317 特定臓器毒性 - 単発暴露 cat 3 H335 水生環境への悪影響- 急性な悪影響 cat 1 H400 水生環境への悪影響- 長期にわたる悪影響 cat 2 H411	60-75%
アクリレート ポリマー	Proprietary	/	5-10%

4. 応急処置

4.1 応急処置の内容

皮膚へ付着：汚染された靴を即座に廃棄あるいは完全に洗浄すること。汚染された衣服、靴を直ちに脱ぎ、肌を石鹸および十分な水量で洗うこと。皮膚の炎症あるいはアレルギー性炎症が継続する場合は、医師の診察を受けること。

眼に入った場合：十分な水で、最低15分間は眼を洗うこと。必要であれば眼科医の診察を受けること。

吸引した場合：新鮮な空気のある場所に移動する。

飲み込んだ場合：吐かせようとしないこと。口をすすぎ、必要であれば医師の診断を受けること。

4.2 顕著な症状および影響（急性および遅発性）

健康被害に関する情報については11項を参照。

4.3 即時の診察および特別な処置が必要とみられる症状が出た場合

健康被害に関する情報については11項を参照。

5. 火災時の処置

5.1 消火剤

適切な消火剤：泡消火剤、炭酸ガス、粉体または水噴霧。

不適切な消火剤：棒上水は使用しないこと。火災を広げる恐れあり。

5.2 特有の危険有害性

火災の際には、健康被害を及ぼすガス（炭酸ガス）が発生する恐れあり。

5.3 消化時の注意事項

特別な消化方法：データなし。

消火作業時の防具：自給式呼吸器を装備し、火災防護服を着用。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、防護装備および緊急対応

8項に記載の火災防護服／装備を参照。適切な防護服を着用しないで破損したコンテナ、漏れた液に触れないこと。許可された人間以外はその場に入れないこと。

6.2 環境に対する注意事項

周りへの漏出を避けること。漏出の拡大を阻止すること。

6.3 清掃手順、用具

十分注意しながら、漏出を止めること。砂や不活性吸着材を使って清掃すること。

6.4 参照

7項：安全な取り扱い。

8項：人体防護装備。

13項：廃棄。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

7.1 取り扱いに関する注意事項

眼、皮膚、着衣への付着を避けること。取り扱った後には手をきれいに洗うこと。熱源、火花、炎から遠ざけること。この製品を取扱う際には、飲食、喫煙しないこと。

7.2 安全な保管条件（非適合性を含む）

元のコンテナで15℃～30℃の間で保存すること。

重合化の恐れがあるので、凍結、熱、直射日光を避けること。炎、高温な表面、引火性物質の傍には保存しないこと。

ドラム内には空気および抑制剤が残っていることを確認すること。抑制剤は溶解酸素の存在が必要。コンテナ内の液面と蓋の間には空気を含んだスペースが必要。無酸素状態での保存は避けること。開封した容器はこぼれないようにしっかりと密閉し、必ず立てて保管すること。

7.3 最終用途

工業用およびプロフェッショナル用途で保管。

8. 暴露防止および保護措置

8.1 管理基準

DNEL値

2-フェノキシエチル アクリレート	作業員	吸入：12mg/m ³ 皮膚への接触：3, 5mg/kg
	一般人	吸入：データなし 経口：データなし 皮膚への接触：データなし
アクリレート モノマー	作業員	吸入：14, 81mg/m ³ 皮膚への接触：42mg/kg
	一般人	吸入：データなし 経口：データなし 皮膚への接触：データなし

PNEC値

2-フェノキシエチル アクリレート	<u>淡水</u> : 0,002mg/L <u>水 (間欠放水)</u> : 0,0121mg/L <u>海水</u> : 0,0002mg/L <u>排水処理プラントへの影響</u> : 1,77mg/L <u>淡水底質</u> : 0,02mg/kg dw <u>海水底質</u> : 0,002mg/kg dw <u>土壌</u> : 0,006mg/kg dw
アクリレート モノマー	<u>淡水</u> : 0,005mg/L <u>水 (間欠放水)</u> : 0,012mg/L <u>海水</u> : 0,001mg/L <u>排水処理プラントへの影響</u> : 10mg/L <u>淡水底質</u> : 0,138mg/kg dw <u>海水底質</u> : 0,014mg/kg dw <u>土壌</u> : データなし

8.2 暴露防止

適切な技術管理：

適切な換気を行うこと。

身体保護装備



保護メガネ



手袋

呼吸器官の保護：換気が不十分と思われる場合には呼吸器を着用。

手の保護：直接液あるいは飛沫に触れる恐れがある場合は保護手袋をはめること。継続的あるいは長時間接触する場合には耐薬品手袋を装着。こまめに替えることが推奨される。手袋に使用されている素材の浸透時間等、手袋メーカーから情報を得て、適切な手袋を使用すること。

眼/顔面の保護：サイドシールドが付いた保護メガネを使用すること。コンタクトレンズは外すこと。

皮膚、身体の保護：長袖を着用すること。

環境汚染管理：

6項を参照。

9. 物理的および化学的特性

9.1 物理的、化学的特性に関する基礎情報

外観：

物理特性 (20°C)：液状

液体色：無色～黄

臭気：ほのかな甘み

嗅覚閾値：データなし

pH：適用外

溶融温度/範囲：データなし
沸点/範囲：データなし
引火点：>110°C
蒸発率：データなし
可燃性（固体）、液体）：適用外
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
濃度：>1
溶解度（水）：不溶
自己発火点：データなし
分解温度：データなし
粘度：25-35mPa. s; 25°C

10. 安定性および反応性

10.1 反応性

データなし。

10.2 化学的安定性

仕様に従って使用、保管する限り分解反応なし。

10.3 危険有害反応性

重合反応の恐れあり。発熱性を有し、化学変化が制御不能となる状態となる恐れあり。

10.4 避けるべき状態

日光あるいは強力な UV 光源への露出を避けること。熱源との直接の接触を避けること。

10.5 混触危険物質

酸化剤、塩基、酸化剤、還元剤との混触を避けること。

10.6 危険有害な分解生成物

燃焼による有害物質生成：二酸化炭素。

11. 有毒性

11.1 有毒性情報

重度の皮膚火傷および眼損傷を引き起こす。

深刻な眼損傷を引き起こす。

アレルギー性皮膚炎を引き起こす恐れあり。

胎児および生殖能力に対する悪影響の恐れあり。

急性毒性：

2-フェノキシエチル
アクリレート

経口：飲み込んだ場合でもほとんど悪影響なし。

死亡例なし/ ラット：5000mg/kg（試験方法：OECD Test 401）

皮膚への接触：皮膚に接触した場合でもほとんど悪影響なし。

死亡例なし/ ラット：2000mg/kg（試験方法：OECD Test 402）

吸入：データなし

アクリレート
モノマー

経口：飲み込んだ場合でもほとんど悪影響なし。

死亡例なし/ ラット：2000mg/kg（試験方法：OECD Test 423）

皮膚への接触：皮膚に接触した場合でもほとんど悪影響なし。

死亡例なし/ ラット：2000mg/kg（試験方法：OECD Test 402）
 吸入：吸入した場合は有毒性あり。
 LC50 4h / ラット：1-5mg/l（試験方法：OECD Test 436;エアロゾル）

局所的影響（腐食性/刺激/深刻な眼障害）：

2-フェノキシエチル アクリレート	<u>皮膚への接触</u> ：皮膚への刺激なし（試験方法：OECD Test 404；うさぎ） <u>眼への接触</u> ：眼への刺激なし（Draize Test；うさぎ）
アクリレート モノマー	<u>皮膚への接触</u> ：皮膚への刺激あり（試験方法：OECD Test 439；試験管） <u>眼への接触</u> ：眼への強い刺激あり（試験方法：OECD Test 405；うさぎ）

呼吸器官あるいは皮膚の感作：

2-フェノキシエチル アクリレート	<u>吸引</u> ：データなし <u>皮膚への接触</u> ：強い皮膚感作あり（試験方法：OECD Test 406；モルモット；maximization test）
アクリレート モノマー	<u>吸引</u> ：データなし <u>皮膚への接触</u> ：強い皮膚感作あり（試験方法：OECD Test 429；Local Lymph Node Assay；ハツカネズミ）

CMR 作用：

2-フェノキシエチル アクリレート	<u>変異原性</u> ：試験結果からは本物質が遺伝毒性を有するという所見は得られなかった。 • 試験管テスト： 試験管によるエイムズテスト：不活性（試験方法：OECD Test 471） 人のリンパ球を用いた染色体異常テスト（試験管）：不活性（試験方法：OECD Test 473） 哺乳類動物細胞の遺伝子変異テスト（試験管）：不活性（試験方法：OECD Test 476） • 生体テスト：データなし <u>発がん性</u> ：データなし <u>生殖毒性</u> ： • 生殖能力：現時点でのデータでは当該物質の生殖毒性を疑う根拠はない。 繁殖テスト：胎児発育に対する毒性 NOAEL（親への毒性）：300mg/kg bw/day NOAEL（生殖能力）：800mg/kg bw/day NOAEL（発達毒性）：300mg/kg bw/day（試験方法：OECD Test 422；ラット；経口） • 胎児発育：胎児に悪影響を与える恐れあり。 胚芽発育時：胚芽発育に悪影響を与える恐れあり。 NOAEL（発達毒性）：200mg/kg bw/day NOAEL（母体毒性）：> 600mg/kg bw/day（試験方法：OECD Test 414；ラット；経口）
アクリレート モノマー	<u>変異原性</u> ：試験結果からは本物質が遺伝毒性を有するという所見は得られなかった。 • 試験管テスト： 試験管によるエイムズテスト：不活性（試験方法：OECD Test 471） 哺乳類動物細胞の遺伝子変異テスト（試験管）：不活性（試験方法：OECD Test 476） 哺乳類動物細胞小核テスト（試験管）：不活性（試験方法：OECD Test 487） • 生体テスト：データなし <u>発がん性</u> ：データなし <u>生殖毒性</u> ： • 生殖能力：データなし • 胎児発育：現時点でのデータでは当該物質の胎児発育に対する毒性を疑う根拠はない。 胚芽発育時：胚芽発育に対する毒性はない。 NOAEL（発達毒性）：> 1000mg/kg bw/day（試験方法：OECD Test 414；ラット；経口） NOAEL（母体毒性）：300mg/kg bw/day（試験方法：OECD Test 414ラット；経口）

特定標的臓器毒性

2-フェノキシエチル アクリレート	<p><u>単回暴露</u>: データなし</p> <p><u>反復暴露</u>: 当該物質あるいはその混合物は反復暴露において、特定標的臓器毒性を有すると分類されていない。</p> <p>経口: 標的臓器: 肝臓; NOAEL: 300mg/kg (試験方法: OECD Test 422; ラット; 6週間)</p> <p>経口: 全身に関する副作用の報告例はなし。; NOAEL: > 350mg/kg (試験方法: OECD Test 408; ラット; 3ヵ月)</p>
アクリレート モノマー	<p><u>単回暴露</u>: 当該物質はあるいはその混合物は単回暴露において、特定標的臓器毒性を有すると分類されている。分類3, 気道炎症。</p> <p>暴露経路: 吸入; 標的臓器: 気道</p> <ul style="list-style-type: none"> • 吸入: 呼吸器官に炎症を起こす恐れあり。 <p><u>反復暴露</u>: 当該物質あるいはその混合物は反復暴露において、特定標的臓器毒性を有すると分類されていない。</p> <p>経口: 特定毒性なし; NOAEL: >300mg/kg (試験方法: OECD Test 408; ラット; 90日)</p>

吸入による危険性:

2-フェノキシエチル アクリレート	適用外
アクリレート モノマー	適用外

12. 環境影響情報

水生生物に対し長期にわたり毒性被害を及ぼす。

12.1 毒性

急性毒性:

2-フェノキシエチル アクリレート	<p><u>魚類</u>: 魚類に対し毒性あり LC50: 96h; コイ: 10mg/L (試験方法: OECD Test 203)</p> <p><u>水生無脊椎動物</u>: ミジンコ属に対し毒性あり EC50: 48h; オオミジンコ(ミジンコ): 2, 21mg/L (試験方法: OECD Test 202)</p> <p><u>水生植物</u>: 藻に対して毒性あり ErC50: 72h; デスモデスムス属(緑藻類): 4, 4mg/L (試験方法: ISO 8692)</p> <p><u>微生物</u>: EC50: 3h; 活性スラッジ: 177 mg/L (試験方法: OECD Test 209; 呼吸阻害)</p>
アクリレート モノマー	<p><u>魚類</u>: 魚類に対し強い毒性あり LC50: 96h; ゼブラフィッシュ: 0, 7mg/L (試験方法: OECD Test 203)</p> <p><u>水生植物</u>: 藻に対して毒性あり ErC50: 72h; 緑藻類: 1, 98mg/L (試験方法: OECD Test 201)</p>

長期毒性：

2-フェノキシエチル アクリレート	水生無脊椎動物： EC10； 21d； オオミジンコ（ミジンコ）： > 0, 1mg/L（試験方法： OECD Test 211, reproduction） 水生植物： ErC10； 72h； 緑藻類： 0, 71mg/L
アクリレート モノマー	水生無脊椎動物： NOEC； 21d； オオミジンコ（ミジンコ）： 0, 092mg/L（試験方法： OECD Test 211） 水生植物： NOECr； 72h 緑藻類： 0, 405mg/L（試験方法： OECD Test 201）

12.2 残留性および分解性

2-フェノキシエチル アクリレート	水中安定度： 半減期： > 1y； 25°C； pH 4-9（試験方法： OECD Test 111） 生物分解性（水中）： 容易に生物分解しない。 28日後で22, 30% （試験方法： OECD Test 301 D）
アクリレート モノマー	水中安定度： 半減期： > 11y； 25°C； pH 7 半減期： > 1y； 25°C； pH 8 生物分解性（水中）： 容易に生物分解しない 28日後で57%（試験方法： OECD Test 310）

12.3 生物蓄積の可能性

2-フェノキシエチル アクリレート	生物蓄積： 生物蓄積の可能性は低い。 分配係数： n-オクタノール/水： log Kow： 2, 58； 25°C（試験方法： OECD Test 117）
アクリレート モノマー	生物蓄積： 生物蓄積の可能性は低い。 分配係数： n-オクタノール/水： log Kow： 4, 52； 20°C（試験方法： OECD Test 117）

12.4 土壤中の移動性

2-フェノキシエチル アクリレート	蒸気圧： 0, 25Pa； 25°C（試験方法： OECD Test 104） 表面張力： 53, 6mN/m； 23°C / 472, 5 mg/L（試験方法： OECD Test 115） 吸脱着： log Koc： 2, 19（試験方法： 計算評価）
----------------------	--

アクリレート モノマー	蒸気圧： 0, 013hPa； 20°C
----------------	----------------------

12.5 PBT and vPvB評価結果

2-フェノキシエチル アクリレート	当該物質はPBT / vPvB評価対象外
アクリレート モノマー	当該物質はPBT / vPvB評価対象外

12.6 その他の悪影響

2-フェノキシエチル アクリレート	不明
アクリレート モノマー	不明

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物の処理

製品：周囲環境へ漏出させないこと。地方条例に従い廃棄処分すること。

汚染されたパッケージ：空になったコンテナは再使用しないこと。廃棄については地方条例に従い廃棄処分すること。

European Waste Key (EWK)/ European Waste Catalogue (EWC): 08 03 12*

(*有害廃棄物)

14. 輸送に関して

14.1 国連番号

ADR / IMDG / IATA: UN3082

14.2 国連正式名称

ADR: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Acrylate monomers)

IMDG: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Acrylate monomers)

IATA: Environmentally hazardous substance, liquid, N. O. S. (Acrylate monomers)

14.3 輸送危険区分 (es)

ADR / IMDG:

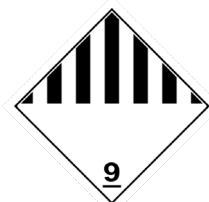
クラス：9

ラベル：9

IATA:

クラス：9

ラベル：9種の危険物質、製品



14.4 梱包区分

ADR / IMDG / IATA: III

14.5 環境危険度:

IMDG:

海洋汚染：該当

ADR / IATA:

環境への悪影響：該当



14.6 ユーザーに対する注意事項

適用外

14.7 Annex II of MARPOL 73/78およびIBC Codeに従ったバルク輸送

適用外

15. 適用法令

15.1 本製品あるいは混合物質に関する安全、衛生、環境規則／法令

規則 (EC) No. 2037/2000 オゾン層を破壊する物質：該当せず

規則 (EC) No. 850/2004 生物に継続的に有害な物質：該当せず

規則 (EC) No. 689/2008 危険な化学製品の輸出入：該当せず

規則 (EC) No. 1907/2006, REACH 付録XIV 承認が必要な物質 (改訂)：該当せず

規則 (EC) No. 1907/2006 Annex XVII マーケティングおよび使用上の制限を要す物質：該当せず

指令 2004/37/EC 作業中に発癌性および突然変異原に曝されるリスクから作業者を護る規制：該当せず

指令92/85/EEC：妊娠中、出産直後、授乳中の作業者の安全と健康に関する規制：該当せず

指令96/82/EC (Seveso III)：危険物質による大きな事故のリスクを管理する：該当せず

EU. 規則 No. 166/2006 PRTR (汚染物質の漏出および移動に関する登録), 付録II: 汚染物質：該当せず

指令98/24/EC 作業中の化学物質に関するリスクから作業者を護る指令：該当せず

15.2 化学物質安全性評価:

本製品に関する化学物質安全性評価は不要であり未実施。

16. その他情報

CLP分類	分類手法
肌への刺激 cat 2 H315	計算による
眼への刺激 cat 2 H319	計算による
肌感作 cat 1B H317	計算による
生殖毒性 cat 2 H361d	計算による
特定臓器毒性 - 単発暴露 cat 3 H335	計算による
水性環境への影響- 長期に渡る悪影響 cat 2 H411	計算による

本製品に関するこれら情報は現時点での我々の知識に基づいており、安全に使用していただくための説明を記載しております。記載されたデータは特定あるいは一般的仕様を保証するものではありません。本製品が意図した目的、使用方法を満足するものであるかはユーザー様ご自身の責任となります。これら記載された情報の使用によるあらゆる損害について、当社は責任を負うものではありません。さらには記載された情報はその物質、使用に関して既に存在する特許に対抗してその製品を使用することを推奨するものではありません。いかなる場合も当社の販売に関する一般条項が適用されるものとなります。

更新履歴

Version 1: 21/05/2021

Version 2: 19/07/2021

Version 3: 02/05/2022

Version 4: 17/06/2022

Version 5: 01/09/2022

このMSDSは、MGI社発行の英文MSDSをコニカミノルタジャパン株式会社が翻訳したものです。
日本国内の輸入販売元情報、及び、国内法規該当状況は下記の通りです。

< 輸入販売元 >

コニカミノルタジャパン（株） プロフェッショナルプリント事業部
東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング（総合受付 26F）
0120-805039(お客様相談室)

< 適用法令（日本） >

消防法： 危険物・第4類引火性液体・第3石油類

毒劇法： 非該当

安衛法： 非該当

PRTR法： 非該当